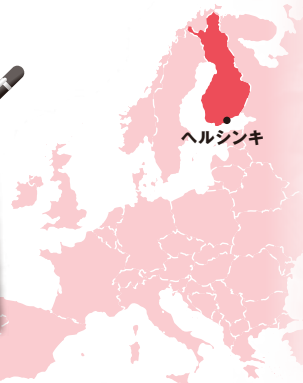


# 北欧フィンランドの クリスマスを紹介します!



皆さん、こんにちは!私は鳥取敬愛高校に留学している18歳です。フィンランドではヘルシンキの“Helsingin uusi yhteiskoulu” (ヘルシンギン ウウシテイショル)という学校に在学しています。

小さい頃から日本の文化に興味を持っていました。12歳のときにインターネットで日本に留学した人が作った動画を見て留学を心に決めました。動画の中の日本は、生徒が明るく学校生活が楽しそうでした。そして何といても制服!フィンランドには制服がないので1回着てみたくなりました。

## クリスマスツリーには本物のもみの木

今年は、私にとって人生で初めて家族と一緒に過ごさないクリスマスです。正直言うと、少し悲しいです。というのも、フィンランド人にとってクリスマスは家族と一緒に過ごす時間だからです。毎年12月24日と25日に友だちと会うことはありません。

フィンランドではクリスマスを「Joulu (ヨウル)」、サンタクロースを「Joulupukki (ヨウルプッキ)」と呼びます。



▲自宅に飾るもみの木

11月からクリスマスツリーやクリスマスプレゼント、食べものの準備が始まりますが、一番大変なのはクリスマスプレゼントを買うことです。家族や友だちにプレゼントを買わないといけません。クリスマスツリーには、本物の木は虫が家に入るかもしれないので、最近はフェイクの木を好む人もいますが、私の家ではいつも本物のもみの木です。もみの木は町の色々なところで販売されていて、スーパーマーケットの前に立ち並んでいることもあります。

## ミルク粥はクリスマスの特別な料理

日本では、恋人や友だちとクリスマスを過ごすと思いたことがあります。きっとお店もたくさん開いていて、楽しみがいっぱいあるからだと思います。フィンランドは12月24日も25日もお店が開くことはほとんどありません。それもそのはず、お店で働いている人たちにとっても、クリスマスは大切な家族と過ごす日だからです。

私が日本に来てクリスマスの話を聞く中で、特に「面白い!」と思ったのは食べものです。日本では、ケーキやチキンを食べる人が多いのですね?!フィンランドでクリスマスの特別な料理といえば、ハム、サーモン、お粥が定番です。お粥といっても日本とは違う食べ方をしますよ。お粥は米をミルクで炊いたやさしい味で、砂糖とシナモンを上振りかけて食べます。作る時にお鍋の中にアーモンドを1粒入れ、アーモンド入りのお粥を食べた人は「幸運」だと言われています。このような特別な料理とともに過ごすのです。



▲クリスマスのディナーセッティング

今年ももうすぐクリスマスがやってきます!フィンランド人にとって、クリスマスはとても大切なお祝いです。普段忙しい人も、このときだけは静かに大切な家族とお祝いをします。さすがサンタクロースが住む国ですよ!



▲家族で過ごすクリスマス



# 鳥取県に暮らす

「外国出身者が運転免許を取得するためには」



外国出身の方々が、鳥取県で暮らすためのお役立ち情報をご紹介します。

外国出身者が日本で自動車免許を取得するためには、どうすればいいでしょうか。

方法は主に2つあります。1つ目は、日本人と同じように自動車学校に通って運転免許を取得する方法です。

2つ目は、もともと外国で運転免許を取得している人が日本の運転免許へ切り替える方法(外国免許切替)です。



## 自動車学校の場合



一般的に、自動車学校を卒業するためには一定の費用と、期間にして1~2ヶ月ほど通う必要があると言われています。鳥取県内には9校の自動車学校がありますので詳細は各自動車学校にお問い合わせください。

自動車学校では日本の交通に関する法律や規則、標識などを詳しく知ることができます。そのため、義務ではありませんが、多くの日本人は最初に自動車学校へ通います。また、日本の道路は左側通行なので、既に外国で運転免許を取得している方にとっても、慣れない日本の道路に戸惑われるかもしれません。自動車学校では、このような不安をぬぐい去るため、実際の道路へ出る前に学校内のコースを十分に走る練習が行われます。

## 外国免許切替の場合



既に外国で運転免許を取得している方は、条件が整えば日本の免許に切り替えることができます。外国の運転免許を持っている方は、まず鳥取市、湯梨浜町、米子市にある運転免許センターへ問い合わせてください。

一般的には、申請書類を提出する際に、免許取得状況に関するインタビューを受けてから書類審査を受けます。

特例国(25か国1区域※1)の運転免許を取得している方は、書類審査を通

と適性試験のみで日本の運転免許が取得できます。

しかしながら、それ以外の国の方は、適性試験、運転知識に関する確認(筆記試験※2)を受け、知識確認に合格すれば技能確認(運転試験)があり、この技能確認に受からないと、日本の運転免許が取得できません。このため、全ての項目を順調に進んだ場合は、比較的費用も安く、免許交付までの期間も短くすみませんが、中には何度も不合格となることもあるようです。

※1 詳しくは運転免許センターにお問い合わせください。 ※2 筆記試験については、英語・中国語等、10ヶ国の言語に対応しています。  
○参考ホームページ/鳥取県警察ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/34708.htm>

## <日本と中国での自動車運転免許取得の違い>

私は、今年9月に鳥取の自動車学校で教習を受け、自動車免許を取得しました。実は中国では既に自動車免許を取得していたため、日中両国での自動車教習を体験することができました。

今、改めて振り返ると「やっぱり違うな」と感じることがあります。日本の自動車学校では、実技の授業以外に、中国にはない無線教習、危険予測ディスカッション、応急処置などの授業があり、これからの運転に役に立つと感じました。また、日本では学科授業を受けることが必須ですが、中国ではその必要はありません。試験の問題集をもらい、自分で勉強してから試験を受けるという流れが一般的です。

日本での路上教習では「歩行者優先」と「安全確認」を特に厳しく

教わりました。これが私にとって一番勉強になったことです。2年前、中国の教習所に通っていた頃は、バックの練習が日課であり、大切なことでした。バック検定も厳しく、14か所の狭いバックコースには全て赤外線センサーが設置され、線をはみ出しているかどうかチェックされます。私が通っていたときは、コース内での検定のみ全てセンサーによって行われていましたが、最近では路上検定でもセンサー、監視カメラ、GPS、そして無線によって採点されることになったそうです。

日本で運転免許を取得してみても一番驚いたのは、中国では交通警察機関によって行われている、コース内と路上の検定を、日本では「民間の自動車学校が行っている!」ということです。

チョウ ウビ 張 雨薇 (財団コーディネーター)



▲中国でのバック検定の様子



独立行政法人国際協力機構

## 青年海外協力隊 帰国隊員へのインタビュー

こちらの方々にインタビューを行いました

森田 義雄さん

(2011年10月~2014年10月)  
派遣国:モロッコ/PCインストラクター

毛利 みゆきさん

(2012年10月~2014年9月)  
派遣国:エチオピア/理数科教師

上野 友也さん

(2012年9月~2014年9月)  
派遣国:マラウイ/理学療法士

### ① 一番うれしかったこと

森田:テトゥアン(モロッコ北部の都市)で暮らせたこと。日本にない景色の中に自分が同化していたこと。

### ② 一番驚いたこと

毛利:コーヒー大国のエチオピア。コーヒーは日常的に飲まれているが、砂糖の代わりに塩を入れる家庭もあったこと。初めて飲んだ時はとてもしょっぱくてビックリしました。

上野:家の水道管が破裂したこと。

### ③ 協力隊を志す人たちへメッセージ

森田:海外との距離は以前と比べモノにならないくらい近くなったと思うし、JICAのバックアップはとても心強い。是非、実際に目で見て、身体全体で体感して、自分の特別な経験として記憶に残して欲しい。過ぎてしまえば、良いコトも悪いコトも、全て良き思い出になります。なるべく皆さんのコトにチャレンジしてみてください!

毛利:現地の人のために出来ることに力を注ぎ、それを通して自分自身を成長させる2年間。自分のやりたいことをかなえられるのは自分だけ。思い切って一步を踏み出してみませんか?たくさんの方との出会いがあなたを待っています!

上野: Seeing in believing (百聞は一見にしかず)!世界は自分が思っているよりも広いです。少なくとも、自分の周りには青年海外協力隊の2年間は無駄であったという人はいなかった。自分が変化する、成長する一つの手段として青年海外協力隊はあるのだと思います。

▲テトゥアン(モロッコ)



▼エチオピアの子どもたち



▲マラウイの配属先にて

JICAボランティア(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)は年に2回(春・秋)募集しています。応募に関するご質問、お問い合わせは「鳥取県JICAデスク」まで!

お問い合わせ 鳥取県JICAデスク TEL/0857-31-5951 FAX/0857-31-5952 E-mail/ [jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp)



# TPIEF Bulletin

## Introducing TPIEF's Office (3-part series)

Part2:TPIEF Yonago Office. This hub for the prefecture's western portion opened in 1998 on the first floor of the Yonago Convention Center, near the train station. In 2009 a social area was created in the office for Japanese language classes on the weekends, making it a popular place for local residents from abroad.

第二次我们为您介绍「米子事务所」。米子事务成立于平成10年，位于有鸟取县西部玄关之称的米子车站附近的米子展示中心的1楼。从平成21年开始，事务所内开设了交流空间，每到周末总见许多外国的朋友们来这里学习日语。



▲Enter this building through the front and continue left to find our Yonago office.  
▲从这个建筑物的正门进去左走，就能看到米子事务所的入口了。

### A Bastion of Activity for Registered Volunteers

Our space is home to individual Japanese language lessons, English interpreting courses, Chinese language workshops, and independent study by Japanese language volunteers, with occasional social lounges for local Chinese-speaking residents.

#### 是志工们的活动据点

利用此交流空间，我们开展了个别日语学习，英语翻译研修会，中文学习会，以及日语志工们所组织的自主学习会等。另外也会不定期的举办来自中华圈朋友们的轻松茶话会。



## Feature

### Learning Japanese as a Foreign Language

More than 2,000,000 holders of foreign citizenship live in Japan, and the number learning Japanese as a foreign language is increasing accordingly. Approximately 3,800 of these reside here in Tottori, making use of many opportunities to study Japanese.

#### - Testimonials -

TPIEF offers a system for connecting Japanese language learners with appropriate volunteer partners. We spoke to one pair of these about their experience.

Rasa Putnaite and Maki Hamada are in their fourth year of educational cooperation. Mrs. Putnaite had already been living in Tottori for two years before she began this course of study. Being unable to read even hiragana, she found entering her children into a Japanese school to be a challenge.

#### Japanese Learner

Rasa Putnaite (Lithuania)



I decided to begin studying Japanese in order to communicate with Japanese people. When I first started studying I could read neither hiragana nor katakana, and could not make sense of the letters my child brought home from school. My first period of study with Mrs. Hamada was memorizing the hiragana. Now that I'm able to understand a portion of the Japanese I find in my daily life, I smile to myself, remembering Mrs. Hamada's face.

My life has changed. I never used to watch Japanese television because I couldn't understand a word that was being said, but now I watch a bit, and I'm able to chat with my child's teachers without help. I was able to get a driver's license without any problem this year, and I'm quite enjoying driving.

The best part of this course of study, for me, was being able to meet Mrs. Hamada.

#### Japanese Volunteer Partner

Maki Hamada



This was my first experience teaching Japanese, and I was somewhat uneasy when I started. I sometimes thought if only I knew more English our communication would be smoother. I worried about whether my student was making sense of what I was trying to say, and whether I was really meeting her needs.

Now that we've kept with it I know that it's working better than I thought. We both have a young child, and having this in common I can see that childrearing is a pretty similar experience in different countries, so I'm able to have a deeper relationship, especially with other mothers.

Our Japanese study is once a week for two hours, unless one of us can't make it for some reason. Her enjoyment of learning makes me happy. I'm glad to feel useful, and I'm grateful to have met her.

## Living in Tottori

### Useful Information on Tottori Life from a Foreign Resident's Perspective

#### Theme: Getting a Driver's License as a Foreign Resident

There are two common ways for a foreign resident to get a driving license in Japan. One is to go to driving school as many Japanese do, and the other is to have a foreign license transferred.

#### Driving School



There are nine schools in Tottori for learning to drive. Generally, fees are paid in full in advance and lessons are taken for one or two months; specifics may vary according to the individual school. Driving school teaches Japan's traffic rules and regulations, including specific meanings of road signs and the like. In Japan we drive on the left, which may be confusing for residents from some countries. Many find practise on a driving school course very useful in overcoming such difficulties before setting out on public roads.

#### Transfer of Foreign License



Licenses from overseas may be transferred to Japanese licenses if they meet the criteria. Residents who believe they may have this option should inquire at the nearest license centre first. The procedure usually involves submitting certain paperwork and taking an interview before documents are inspected officially. In some cases the documents are simply transferred without further issue, but most of the time it is necessary to take a written test to confirm relevant knowledge, and a Japanese license is issued on passing the test. This process is much less expensive than going through all the steps, and generally takes much less time, although it is possible to fail the written test several times before passing.

○ For more information see the Tottori Prefectural Police Department's home page at <http://www.pref.tottori.lg.jp/34708.htm>

### Getting a Driver's License in Japan vs. China

Yu Wei Zhang (TPIEF Coordinator)

I completed my driving instruction and got my license this past September. I actually already had a license in China, so now I've experienced learning to drive in both countries. Now when I look back on it I realize how different it actually was.

In Japan, in addition to practical learning there's wireless remote driving practice, danger prediction discussion, and first-aid courses, none of which are done in China, and I thought those were good to have. There's also the requirement here for sitting classes, which is also different. We usually just receive a list of test problems and study them ourselves before taking the test.

Instruction here was especially strict on things like pedestrian right-of-way and checking the perimeter for safety. That was the biggest learning experience for me. Two years ago, when I was in driving school in China, practice backing into parking spaces was very important. We had 14 sensors set up in a narrow parking space to make sure the car fit perfectly into the space. At the school I went to that was the only thing that was checked by sensor, but apparently these days they're using sensors for everything, as well as cameras, GPS, and wireless remotes. The biggest surprise for me was that, unlike in China where licenses are issued through the traffic police, the course and all checks are done here by civilians at private driving schools.



▲ Reverse practise in China

## TOP IEF 信息

### 财团事务所的介绍! (3次连载)



▲Feel free to use our international bulletin board  
▲国际交流活动信息栏, 请多加关注。



▲Our Chinese-language coordinator from Taiwan is available on Tuesdays and Thursdays.  
▲每个星期二、四有来自台湾的中文协调员在此为您服务。

We're looking forward to seeing you!  
财团本所期待各位的光临!



### Library Corner for International Materials

We stock numerous foreign magazines, picture and comic books, novels, and cookbooks as well as materials for Japanese language study, making up for the limited availability of such in local bookstores and libraries.

### 国际交流不可或缺的图书区

除了外语的杂志、图画书、小说、料理书之外, 还有很多「外语学习/日语教学」等的相关书籍、教材。书籍数量甚至可能超过了图书馆或书店了呢!

## 特集

### 「学习外语之日语」

日本在住的外国人已经超过200万人了。因此学习日语的人也在持续增加。在鸟取县在住的约有3800位来自外国的朋友, 他们以各种不同的立场在每天坚持学习日语。

#### - 听听经验之谈! -

在鸟取国际交流财团, 有为想要学习日语的外国朋友介绍日本志工老师来帮助其日语学习的制度。在此, 我们请实际上成为学习搭档的2位来聊聊他们的经验之谈。

开始学习日语已经迈向第4年的ラーサさんと浜田さん。ラーサさん刚开始学习日语的时候已经在鸟取生活了2年多, 但是, 因为她连平假名都不会读, 所以当她把孩子送到日本学校上课之后, 她才发现在日本的生活并非那么的简单。

日语学习者  
ラーサ・  
ブトナイテさん  
(来自台湾)



“想要和日本人交朋友”...抱着这样的心情, 我决定开始学习日语。刚开始学习日语的时候, 我连平假名也不会读, 不会写, 当然小孩从学校拿回来的联络单也都看不懂。于是, 我和浜田さんの日语学习从最基础的平假名开始了。  
现在, 在日常生活中只要有我能懂的日语出现, 浜田さん就会浮现在我的脑海里, 有时甚至会一个人笑出来呢!  
在我的生活中也有了一些变化。以前, 因为听不懂所以我完全不看日本的电视, 但是最近慢慢的开始看了。小孩的学校恳谈会我也可以自己一个人去参加了。还有今年我考到了驾照, 常常享受着兜风的乐趣呢!  
对我而言, 持续学习日语最开心的事情就是可以认识志工老师浜田さん吧!

日语志工  
浜田 真紀さん



这是我第一次对外国朋友给与日语教学支援, 所以其实刚开始我也很不知所措。比如说, 有时会想:「如果我的英语再好一点的话, 我们或许可以沟通得更好」。也曾经担心不知道自己所教的是不是对方所想要学的, 等等。  
但是, 我想我们之间可以这样持续下来, 是因为互相都得到了比那些更有意义的东西。我们彼此都在育儿阶段, 所以对于国家不同, 育儿经却是相同的这一点有了共识, 我们甚至有时候会以妈妈友的身份来加深交流呢!  
我们的日语学习基本上是一周一次, 每次约2个小时左右。如果其中一人有事则休息。  
现在的我感觉到她的喜悦就是我的幸福。她让我真实的感受到帮助某人的成就感。真的很高兴可以认识她。

## 生活在鸟取

### 为鸟取县在住的外国人提供有助于生活的信息

题目:「外国人取得驾照的方法」

外国人若想要在日本取得机动车驾照, 方法主要有两种。一种是跟大多数日本人一样去驾校上课之后考取驾照。另一种方法是原本就持有外国驾照的人可以直接换成日本的驾照(外国驾照更换)。

#### 驾校学校



鸟取县内有9个驾校学校。  
一般来说, 去驾校上课需要一定的费用及1~2个月的时间, 详细情况请向各个驾校咨询。去驾校上课可以学习到很多日本交通的法律、规则、标示等。因此, 虽然并非义务, 但仍有很多日本人一开始就去驾校上课。另外, 因为日本的道路是左侧通行, 对于已经在海外就有驾照的人来说可能会有一些踌躇。为了去除这样的不安, 在实际开车上路之前, 会让学员在驾校内的跑道练习, 等熟悉之后再上路练习。

#### 外国驾照更换



在国外就已经持有驾照的朋友只要条件都符合了, 就可以将其换成日本驾照。持有外国驾照的朋友, 首先请向离家最近的驾照中心询问。  
一般来说在提出申请资料的时候, 会先询问有关您当初驾照取得时的一些情况之后才受理。有时候通过书面检查, 只要再做适性检查就可以取得日本驾照, 但是一般来说, 得要先做适性检查及关于驾驶常识的笔试, 笔试通过了还有技能考试(驾驶考试)。通过了这个技能考试, 才可以取得日本的驾照。  
若所有的项目都顺利通过的话, 费用会比较便宜, 且拿到驾照的时间也比较短。但是听说也有人考了好几次还是不及格。○参考网页: 鸟取县警察网页 <http://www.pref.tottori.lg.jp/34708.htm>

### 在日本和中国取得机动车驾照的不同之处

张 雨薇 (财团国际交流协调员)

今年9月我去了日本驾校学车, 并且顺利的拿到了驾照。回想两年前在中国驾校学车的体验, 相比较起来感觉到“真的是大有不同啊!”。在日本的驾校, 不仅可以学习驾驶的实际操作, 还可以通过在中国所没有的无线驾驶练习、危险预测讨论、急救法之类的课, 学习到对以后驾车很有帮助的知识技能。另外, 在日本的驾校, 学科是必修课时。而在中国没有学科的课时, 大家会进驾校之后会拿到一本习题集, 自学之后去参加考试。  
在日本的路面练习中, 特别重视“步行者优先”和“安全确认”。这些对我来说真的算是宝贵的学习经验。2年前, 在中国驾校学习的时候, 比起路面练习, 更重视倒库的练习。在中国驾校倒库算是每天的必练项目。倒库的考试也很严格。在倒库考场内, 有14个红外线探测头去监测车身是否出线。2年前我参加考试的时候, 在场地内的考试都是用红外线进行监测的。不过听说最近的路面驾驶考试, 开始通过红外传感, 电子摄像、GPS等无线设备来进行测评。  
一般在中国所有的驾驶考试都是由交警机关实行的。而在日本, 场地和路面的驾驶考试, 都是由日本民间的驾校来实行的。这点真的让我特别惊讶。



▲中国的倒库考试照片

# 世界をめぐる

～ヨーロッパをのぞいてみよう！～

ヨーロッパには、私たち日本人にとっても馴染みの国が多く、昔から変わらない人気を誇るイギリス、フランス、ドイツ、スペイン等や、人々のライフスタイルやおしゃれなインテリア家具・雑貨が注目を集め、人気上昇中の北欧があります。今回は、そんな魅力を持つヨーロッパの国々で実際に暮らしている人、旅した人の感性や言葉によって綴られている書籍をご紹介します。あなたのお気に入りの1冊を見つけて、ヨーロッパへの思いを馳せてみませんか？



ヨーロッパコーナー  
in 倉吉事務所

※図書の貸し出しは無料で行っています。  
※各事務所で蔵書は異なりますが、最寄りの事務所で取り寄せることができます。

## おすすめ図書



### 『フランスの子どもは夜泣きをしない』

パリ在住アメリカンジャーナリストが見て感じたフランスの子育て事情。日本と全く違う「フランス流子育て」って？



### 『わが家の本格スペイン料理』

近くにスペイン料理店がなくても、この本が一冊あれば自宅で本格スペイン料理が作れます。



### 『北欧のかわいい家と雑貨をめぐる旅』

マリメッコなど現地のかわいいショップや素敵な北欧デザインが盛りだくさん紹介されています。

## 【公益財団法人鳥取県国際交流財団】

# あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い支援・参加を得て、皆様とともに県民参加型の国際交流事業を進めていくため、趣旨に賛同してくださる賛助会員を広く募集しています。国際交流に興味はあるけど何から始めればいいのか分からないとお悩みの方も、まずは当財団の賛助会員に！きっと楽しい世界が広がるはず。皆様のご入会をお待ちしております!!

### 入会方法

財団の各事務所で入会を受理しています。  
また、公共施設にも申込用紙を置いてありますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

### 【入会対象者と年会費】

個人会員	1口/	2,000円
学生会員 (高校生以下)	1口/	500円
団体会員	1口/	10,000円

※会員期間は、毎年度4月1日から翌年の3月31日までです。※途中入会の場合、年会費は入会月に合わせて割引になります。

## 会員特典

特典1 財団機関紙(年4回)「とっとり国際通信」の送付

特典2 財団図書貸し出し増冊サービス

特典3 提携飲食店、観光施設等の割引サービス

特典4 提携旅行会社のパック商品等の優遇割引

※提携している飲食店、観光施設、旅行会社等とサービス内容については、ホームページに掲載しているほか、一覧表を機関紙とともに送ります。

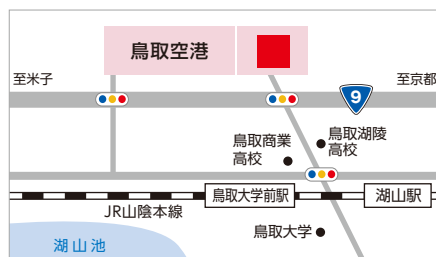
## 本所

Head Office / 総所

〒680-0947  
鳥取市湖山町西4丁目110-5 鳥取空港国際会館1F  
TEL.(0857)31-5951 FAX.(0857)31-5952  
E-mail / tic@torisakyu.or.jp

### ■利用時間

平日 9:00~18:00 土・日 9:00~17:30  
祝日・年末年始はお休みです



## 倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802  
倉吉市東蔵城町2 鳥取県中部総合事務所別館  
TEL.(0858)23-5931 FAX.(0858)23-5932  
E-mail / tick@torisakyu.or.jp

### ■利用時間

平日 8:30~17:15 土・祝日・年末年始はお休みです  
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



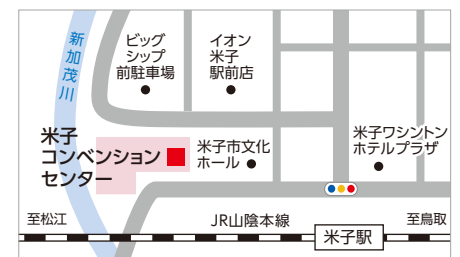
## 米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043  
米子市末広町294 米子コンベンションセンター1F  
TEL.(0859)34-5931 FAX.(0859)34-5955  
E-mail / ticy@torisakyu.or.jp

### ■利用時間

平日 9:00~17:30 土・日 10:00~17:00  
祝日・年末年始はお休みです



配信中!  
登録無料!

- 国際交流イベント情報メールマガジン「☆TIM☆」(日本語)
- 携帯版多言語メールマガジン「TORIMO」(英語、中国語、タガログ語)

鳥取発!

各種冊子  
無料配布中!

- 防災ハンドブック
- 災害時携帯カード
- コミュニケーションサービスカード